

## 授業記録簿

前後期別	(前期)・後期・合同)	作成者	( 15 )期生	氏名 松岡 圭吾
講義名	一般経済学、農業人口問題			
講義者	保田 学長			
講義日	R1年7月3日	場 所	県民会館 ( 902 号室)	
講義概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回は引き続き一般経済学：生産と消費の繰り返しながら成長する。</li> <li>・ 農業従事の労働力の高齢化と減少。</li> </ul>			
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神武景気 (55～57)、岩戸景気 (59～61)、オリンピック景気 (63～64) いざなぎ景気 (66～70)、列島改造ブーム (72～73)、</li> <li>・ マイナス金利 (公定歩合) →市中金利低下→設備投資、個人消費の増加目的。</li> <li>・ 資本：利益を発生させるお金、個人の金は利益を生まない。</li> <li>・ 社会主義：資本は個人ではなく公有となる、人間の管理が問題である。</li> <li>・ 農業従事労働者は 10 年後には居なくなる。</li> <li>・ 中国、インドの国民の食生活向上により世界的な食糧不足になる。</li> <li>・ フランスでは若年者の農業従事者が増えたが日本では減少している、主食用の米が消費減、減反制度により生産量が大幅に減った。</li> <li>・ 販売農家：年間 50 万円以上、以下は自給農家。</li> <li>・ 若者の農業者の収入が増える施策が必要。</li> <li>・ 耕作放棄地の問題は大きな問題である、解決策は現状無し。</li> <li>・ 大規模経営の農業では村が成り立たない、地方都市が崩壊する。</li> </ul>			
参考事項				